

日ごろの練習成果を華麗に披露！



11月23日（金）から25日（日）の3日間、鳥取市文化センターで「第31回鳥取市公民館まつり」が行われました。市内62地区の公民館から寄せられた、染物や書道、絵画や工作など、さまざまな分野の作品展示には、たくさんの人たちが作品を一目見ようと会場に訪れました。来場者は「細かいところまで素晴らしい。とても刺激になります」と、質の高い作品の数々をじっくりと鑑賞していました。

25日には、地区公民館を拠点として活動する17の団体のみなさんが日ごろの成果を披露する芸能発表会を実施。演技を終えたみなさんは、とても生き生きとした表情で、日ごろの活動への自信を深めたようでした。

この日は、主催者側から活動を支えていただいている市民のみなさんへの感謝の気持ちを込めて、つくたてのお餅が振る舞われ、子どもから大人まで、アツアツのお餅に舌鼓を打っていました。



とっとり市報

2013年1月号 第1029号

目次

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
鳥取市を語る 市政への提言 柴原 史則さん	P3
特集 全国都市緑化とっとりフェア本年開催	P4-5
特集 ふるさと鳥取へ、帰ろかな…	P6-7
平成24年市政10大ニュース	P8-9
申告の準備はお早めに	P10-11
シズ 元気です 宇佐美 里香さん	P12-13
まちかどアルバム	P14-15
健康・病院	P16-17
ピックアップインフォメーション	P18-21
鳥取市職員募集	P18
年始・祝日のごみ収集（鳥取地域）	P19
簡易水道料金を改定します	P20
災害時要援護者支援制度の取り組みを行っています	P21
など	
情報ひろば	P22-28
福祉（高齢者への日常生活用具の購入費助成）	P22
お知らせ（都市緑化とっとりフェア前売入場券情報 など）	P22
鳥取市庁舎整備の取り組み状況をお知らせします	P23
募集（第3回鹿野往來マラソン など）	P23
鳥取砂丘 砂の美術館 第6期展示情報	P26
鳥取の食材を活かす料理コンテスト優秀作品紹介	P26
など	
無料相談	P29
各施設のイベント情報	P30-31
食・読者プレゼントなど	P32

PUBLIC INFORMATION

とっとり市報 No.1029

鳥取市の人口

男 : 94,125人 [-17]
 女 : 101,239人 [-36]
 合計 : 195,364人 [-53]
 世帯数 : 77,596 [-22]

平成24年12月1日現在 [] 内は前月比

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しております。どうぞご利用ください。

鳥取市役所

TEL 0857-22-8111(代)
 FAX 0857-20-3040
 〒680-8571
 （郵便物は郵便番号と課名のみで届きます）
 本庁舎 尚徳町116番地
 第二庁舎 上魚町39番地
 駅南庁舎 富安二丁目138番地4

鳥取市ホームページアドレス

<http://www.city.tottori.lg.jp/>
 音声読み上げなどの支援機能があります

ホームページ抜粋版

（携帯電話対応アドレス）
<http://www.city.tottori.lg.jp/mobile/>

電子メール

kouhou@city.tottori.lg.jp

各総合支所

国府 TEL 0857-39-0555
 福部 TEL 0857-75-2811
 河原 TEL 0858-76-3111
 用瀬 TEL 0858-87-2111
 佐治 TEL 0858-88-0211
 気高 TEL 0857-82-0011
 鹿野 TEL 0857-84-2011
 青谷 TEL 0857-85-0011

編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室
 TEL 0857-20-3132
 発行/平成25年1月1日
 印刷/株式会社鳥取平版社

活性化を、まちのブランドイメージで！

環光のまち因幡

市長 鳥取青年会議所が取り組んでおられる「環光のまち因幡」推進運動の3つの柱について、まずお尋ねします。

柴原 私たちは、2008年に「環光のまち因幡」推進運動というビジョンを策定しました。今年は見直しの年で、今までの活動の集大成となる年にしなければいけないと思っています。まず「因幡のグリーン政策」ですが、鳥取のイメージカラーであるグリーンを環境という広い範囲でとらえ、経済効果に繋げる取り組みが一つ。「究極の田舎政策」は、田舎という弱みを逆に強みに変えて、地域経済を活性化しようとするものです。また、「新生鳥取砂丘政策」は、雄大な砂丘をただ見ていただくだけではなく、別の視点から新しい魅力を伝え、人を集めたいと考えています。

市長 3つの柱に関連する鳥取市の取り組みですが、9月21日から開催される全国都市緑化とっとりフェアで「鳥取流緑化スタイル」を情報発信し、公園や庭に多年生の植物を植えるナチュラルガーデンを全国に伝えていきます。田舎政策の関連では、鳥取市への就職定住に奨励金を出すことなどで、UJイターンに大きな成果を上げています。鳥取砂丘については、砂の美術館が、50万人の入館目標

を達成する勢いです。次の第6期展示は、東南アジアをテーマに、4月20日から行います。

テーマを決め、まちの活性化を

市長 まちの活性化について、企業の経営者の観点からどうお考えですか。

柴原 企業で一番大切なのは、何をする会社なのかというメッセージを打ち出す



ことです。まちで考えれば、何のまちかという共通認識を持つことです。今の消費者は安全安心や清潔感などは当たり前の基準ですから、選ばれるには何らかのテーマやキラリと光る長所が必要です。中心市街地の会議でもよく議論されるのですが、活性化するためのテーマは何かと聞いても明確には答えられない。やはりブランドイメージをしっかりと作れば変わる気がします。そのためには、議会の役割がものすごく大きいと思っていて、根幹の政策を育てていくための議会であるべきだと思っています。

市長 とても重要な点ですね。私は、平成22年度から「人を大切にするまち」を掲げています。さらに、「砂像のまち鳥取市」を今売り出し中ですし、今年は都市緑化フェアの年ですので、「ガーデンシティ鳥取」にも力一杯取り組みます。

柴原 今のことに満足するのは簡単だけれど、もっと先を見ようという想いを込めて、今年の鳥取青年会議所のスローガンを「その先へ」としています。

市長 新年の対談にふさわしい素晴らしい素晴らしいお話、ありがとうございます。

※対談内容を抜粋・要約して掲載しています。

□ 対談者 鳥取青年会議所

2013年度理事長 柴原史則さん

□ 場所 高砂屋

□ 対談日 平成24年11月22日(木)